

—形状および寸法・構成—

開先付き異形棒鋼「NewJ-BAR」の大臣認定（認定番号 MSRB-0058）に係る性能評価申請図書に於ける「寸法および形状の詳細」の抜粋と共に、認定取得時の確認事項および補足（※参照）を下記に示します。

記

1. 建築材料の形状及び寸法・構成

1.1 姿図（形状・構成）

開先付き異形棒鋼 NewJ-BAR の姿図は、図 1 による。

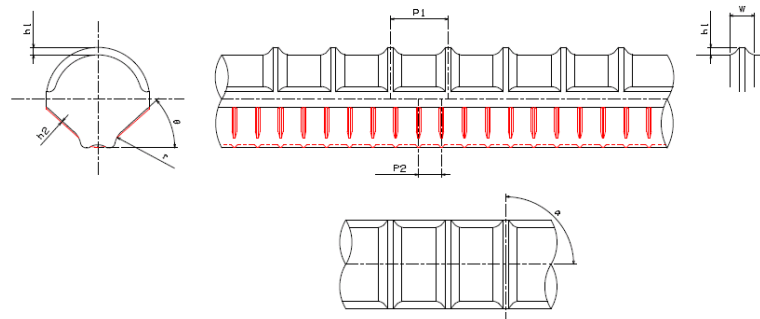


図 1 開先付き異形棒鋼 NewJ-BAR の姿図

1.2 寸法（形状・寸法）

開先付き異形棒鋼 NewJ-BAR の形状、寸法および単位質量は、表 1 による。

※NewJ-BAR は、適用範囲の拡張に伴い必要となる鉄筋継手性能を高める為に、J 形開先部に微小な凸部（高さ：0.5±0.2mm）を設け、モルタル充填式継手 A 級以上の性能を確認しております。

表 1 寸法、質量、節および開先凸部の許容限界

呼び名	公称直径 (d) mm	公称周長 (I) cm	公称断面積 (S) cm ²	単位質量 kg/m	節の平均間隔の 最大値 (P1) mm	節の高さ (h1)		節の幅 (w) mm	節と軸線との 角度 (α) 度	J 開先の 角度 * (θ) 度	J 開先の ルート 半径 * (r) mm	開先凸部の平均間隔の 最大値 * (P2) mm	開先凸部の 高さ * (h2) mm	単位質量の許容差 %
						最小値	最大値							
WD25N 注	25.4	8.0	5.067	3.98	17.8	1.3	2.6	8±2	45 以上	42.5 ±2.5	8.0 ±1.0	9.5	0.5 ± 0.2	±5
WD32N	31.8	10.0	7.942	6.23	22.3	1.6	3.2	9±2						
WD35N 注	34.9	11.0	9.566	7.51	24.4	1.7	3.4	10±2						±4
WD38N	38.1	12.0	11.40	8.95	26.7	1.9	3.8	10±2						

備考 1. 公称断面積、公称周長および単位質量の算出方法は、次による。

公称断面積 (S) = $0.7854 \times d^2 / 100$: 有効数字 4 けたに丸める。

称周長 (I) = $0.3142 \times d$: 小数点以下 1 けたに丸める。

単位質量 = $0.785 \times S$: 有効数字 3 けたに丸める。

備考 2. *印は、告示 1446 号四. 鉄筋法第三十七条第 2 号の品質に関する技術的基準に定められていない項目である。

備考 3. 注印 WD25N および WD35N の生産時期は未定である。